

令和 5 年度

かながわの地域日本語教育の 取組状況について

神奈川県国際文化観光局国際課

令和 6 年 1 月 17 日

取組の概要

「かながわの地域日本語教育の施策の方向性」の4つの方向性に沿って、地域日本語教育の体制づくりに向けた取組を進めている。

基本理念

日本語による円滑なコミュニケーションを通じて、外国籍県民等が安心して生活し活躍できる、多様な文化を尊重した活力ある地域社会を実現する。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

- ◆総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置
- ◆市町村等連絡調整会議
- ◆総合調整会議、専門委員会
- ◆日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査
- ◆市町村への財政的支援(補助金)
- ◆専門家による日本語講座開催の促進(初心者向け日本語講座、運営改善・開設支援)

② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり

- ◆日本語ボランティアの養成・研修
- ◆日本語学習支援に関する研修の実施

③ 地域日本語教育に関する情報提供の充実と外国籍県民等の日本語学習へのアクセス促進

- ◆日本語学習支援に係る相談対応・情報提供

④ 多文化理解の推進

- ◆地域日本語教育に関するフォーラムの実施

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置

概要

総括コーディネーター 1名

地域日本語教育コーディネーター 4名

(政令市(総括Co 兼務)、県西地域1名、横須賀三浦地域1名、県央地域1名、湘南地域1名)

取組実績

- ・ 市町村に対する情報提供
- ・ 市町村補助金を活用した事業への働きかけ
- ・ 市町村・企業等からのニーズの把握
- ・ 複数市町村、関係機関との連携(ネットワークづくり)支援
- ・ ボランティア研修への相談対応、講師紹介
- ・ ボランティア希望者へ日本語教室を紹介
- ・ 日本語教室へのオンライン化支援

課題

- ・ 企業、日本語教育機関、大学とは、連携が進んでいない。
- ・ 市町村における日本語教育に関する理解、取組が進んでいる一方で、依然として、地域によっては日本語教育に関する取組が進んでいない。

課題への対応

- ・ 企業に係る取組は、産業労働局と連携を強化しながら、推進していく。
- ・ 日本語教育機関、大学に係る取組は、まずは関係者に地域日本語教育の基本的な理解や関心を高める機会を提供するなど、段階的に進める。
- ・ 市町村に対しては、活用しやすい支援の組立てを柔軟に行いながら、必要な支援を継続する。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

総合調整会議等

概要

県内の地域日本語教育を推進していくため、専門家等から今後の施策に係る助言の聴取等を行う。

【かながわ国際政策推進懇話会専門委員会(地域日本語教育)】

7/13(木) オンライン開催

- ・ 令和5年度かながわの地域日本語教育の取組について
- ・ 令和6年度以降のかながわの地域日本語教育の取組の方向性について
- ・ 県における日本語教育の基本方針の策定について

1/12(金) オンライン開催

- ・ 県における日本語教育の基本方針の策定について
- ・ 令和5年度かながわの地域日本語教育の取組状況について
- ・ 令和6年度以降のかながわの地域日本語教育の取組(案)について

【総合調整会議(かながわ国際政策推進懇話会)】

1/17(水)(予定) ハイブリッド(対面・オンライン)開催

- ・ 県における日本語教育の基本方針の策定について など

取組実績

今後の 対応

- ・ 今回策定する基本方針に則り、地域日本語教育を推進していくにあたり、国の動向等を踏まえた取組となるよう、引き続き、必要な意見聴取等を行っていく。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

市町村等連絡調整会議

概要

県内の市町村・国際交流協会等が地域の日本語教育について情報共有や意見交換を行うとともに、日本語教育の推進に資する研修を実施する。

取組実績

【第1回】 6/23(金) オンライン開催

- ・ 令和5年度 県の地域日本語教育の取組について
- ・ 市町村の地域日本語教育の取組事例共有
(横須賀市、葉山町の取組紹介)
- ・ 各市町村間の情報共有・意見交換

【第2回】 2月(予定) オンライン開催

- ・ 令和5年度の地域日本語教育の取組状況について
- ・ 令和6年度の地域日本語教育の取組(案)について
- ・ 研修(内容調整中)

課題

- ・ 市町村により取組に違いがあり、状況の変化・職員の異動等もあるため、**きめ細かく継続した情報共有が必要。**

課題への対応

- ・ 県内外の参考となる取組紹介を行うとともに、研修等を実施し、継続的に地域日本語教育の推進を図る。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査(市町村支援)

概要

日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査
(関係機関約10団体、合計20名以上のヒアリング等の調査)

取組実績

【箱根町】

- ・ 国際交流団体、ボランティア団体、社会福祉法人等、計10団体へのヒアリングを実施
- ・ 報告書を1月までに取りまとめ予定

[参考:前年度 座間市]

課題

- ・ ニーズ把握ができていないが、調査の実施に至らない市町村がある。

課題への対応

- ・ 引き続き、ニーズ把握ができていない市町村等に対して、事業の有効性を示しながら、調査活用の呼びかけを行う。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

市町村への財政的支援(市町村補助金)

概要

神奈川県地域日本語教育の総合的な体制づくり市町村推進事業費補助金

補助率:国1/2、市町村1/2

国 庫:文化庁「文化芸術振興費補助金(地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業)」

取組実績

【申請自治体】 13自治体

- 相模原市、横須賀市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、大和市、伊勢原市、座間市、綾瀬市、葉山町、真鶴町、湯河原町

〔参考:前年度 13自治体 〕

【活用内容】

- 日本語学習支援者育成講座、日本語ボランティア養成講座
- 日本語会話サロン、日本人向けやさしい日本語講座
- 日本語教室学習教材の提供

など

課題

- 地域によっては日本語教育に関する取組(活用)が進んでいない。
- 既に取り組んでいる地域は、更なる推進を目指していくことが望ましい。

課題への対応

- 補助金を活用しやすくするため、市町村支援事業を柔軟化する。
- 国際部門だけでなく、産業労働部門等も含めた周知・展開を図る。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 1

日本語初心者向けの日本語講座の開催（県モデル事業）

概要

生活に必要な日本語の習得を目指して、将来的に市町村でも実施可能となるよう専門家による集中型の日本語講座を開催。

【横須賀教室】（横須賀市共催）

レベル1: 7/7(金)～9/15(金) 計20回 11名修了

レベル2: 10/3(火)～12/15(金) 計20回 14名修了



【オンライン教室】

レベル2: 12/6(水)～2/28(水) 計20回（実施中）

※レベル1: はじめて日本語を勉強する人

レベル2: ひらがな、カタカナを読むことができる人



〔参考: 前年度 県央教室、横須賀教室、オンライン教室〕

参考: 資料編 p1

取組実績

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 1

日本語初心者向けの日本語講座の開催(県モデル事業)【続き】

受講者からの意見等

【受講者の満足度】 ※「満足できた」「大体満足できた」が全体に占める割合
横須賀教室 レベル1:100% レベル2:100%

【主な意見】

- ・ 先生方はとても良かった。私は日本語0から、今では少し話せるようになった。素晴らしい！
- ・ (防災の生活オリエンテーションについて)どこへ避難するかや、危険区域が分かって良かった。
- ・ この授業はよくまとまっており、教科書はとても役に立った。他のクラスと比べると、日本語以外の言葉がほとんどなく、日本語に没入していた。

課題

- ・ 市町村における講座開催地域が広がらない。
- ・ 各地域の実情に応じた企画・運営に係る調整。

課題への対応

- ・ 市町村での実施に向けて、必要に応じて日本語講座等の開設に係る支援(講座の企画・カリキュラム作成、運営面での支援等)を行う。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 1

日本語講座等の開設に係る支援(市町村支援)

概要

地域の実情に応じた日本語講座等が新規に開設されるよう、当該講座の「企画、カリキュラム作成」等に係る支援を行う。

取組実績

【海老名教室】(海老名市共催)
8/23(水)～11/29(水) 計14回 13名修了

参考:資料編 p5



受講者からの意見等

【受講者の満足度】

海老名教室 100% ※「満足できた」「大体満足できた」が全体に占める割合

【主な意見】

- ・ 話す力が大幅に伸びました。先生方は親切でした。私達が必要とする情報も提供してくれました。

課題

- ・ 市町村での自走化に向けたカリキュラムや運営方法の調整。

課題への対応

- ・ 各市町村の予算や人員等を踏まえ、対応可能なカリキュラムや運営方法について調整し、講座の自走化を図る。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 1

外国人従業員向けの日本語講座の実施(県モデル事業)

概要

外国人従業員が職場や地域でのコミュニケーションに役立つ日本語の習得や理解の進展が目指せるよう、日本語教育の専門家による日本語講座を実施。

取組実績

【日時】

1/11 (木)～2/29(木)
13:00～14:30 計8回

【参加方法】

対面・オンライン

【対象】

綾瀬市内の企業で働く外国籍の方など

【定員】

20名 ※企業担当者を通じて申し込み

【共催(連携先)】

綾瀬市商工会

参考:資料編 p7

外国人従業員向け日本語講座
受講者募集

職場や地域でのコミュニケーションに役立つ日本語を勉強します

対象	綾瀬市内の企業で働く外国籍の方など
定員	20名 ※応募者多ければ抽選
受講料	無料
申込方法	企業の窓口担当者を通じて、綾瀬市商工会へ申し込みください
申込時期	12月11日(月)

スケジュール
2024年1月11日～2月29日 木曜日 13:00～14:30

第1回	1月11日 [対面]	第5回	2月8日 [オンライン]
第2回	1月18日 [オンライン]	第6回	2月15日 [オンライン]
第3回	1月25日 [オンライン]	第7回	2月22日 [オンライン]
第4回	2月1日 [対面]	第8回	2月29日 [対面]

主な学習項目
・「日常会話」等の基礎を学ぶ(「日常コミュニケーション」の活用を兼ねる)「聴解」の授業や練習(録音)等
・「書き」について習得する
・日本語の基礎的な文法を学ぶ
※内容は変更される場合があります。 Google Map | 綾瀬市商工会

企業への皆さまへのお願い
本講座は主にオンライン (Zoom) で実施します。企業の皆さまには、受講者が互見なく参加もよし、必要に応じて、Web 研修の認定や
ご自身の研修費に追加をお願いいたします。オンライン受講の場合はPC及びネットの環境を整えます。
本講座では日本人受講者さまのご参加も歓迎いたします。ご不明点などございましたら、お問い合わせください。

お申込み 講座にご参加をご希望の上、綾瀬市商工会へFAXまたはメールにてお申込みください。
[FAX] 0467-77-7272 [X-メール] tn-ayase@k-skr.or.jp

お問合せ 本講座の不明点につきましては、(TEL)かながら随時お問い合わせください。
[TEL] 045-620-0011 [X-メール] kifnihongo@kifjp.org

今後の 対応

- 産業労働局と連携しながら、取組を推進していく。

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 2

ボランティアによる日本語教室等の運営改善等に係る支援(市町村支援)

概要

地域のボランティアによる日本語教室がこれまでの課題や問題点等を解決し、継続的かつ発展的な運営が可能となるよう、専門家の助言や指導による支援を実施。

【横須賀市】

課題:①日本語でのやりとりが難しい日本語学習希望者とのコミュニケーション、
②オンラインなど多様化している日本語学習支援への対応

内容: 専門家による日本語講座(県モデル事業)の録画映像を見ながら、専門家からの助言や指導及び参加者同士の意見交換により、日本語初心者とのコミュニケーションのコツ、ZOOMも活用した活動方法を知る。

参加者: 15名

実施日: 6/3(土)、6/10(土) 全2回

【真鶴町】

課題: 日本語教室がなく、コロナ禍の影響で、外国人住民と交流できる国際交流協会の活動が停止している

内容: 日本語を使って外国人住民と交流するイベントの企画、周知の手法を学ぶ。

定員: 25名

実施日: 1/28(日)

取組実績

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 2

ボランティアによる日本語教室等の運営改善等に係る支援(市町村支援)【続き】

受講者からの意見等

【受講者の満足度】

横須賀市:100%(回答数15名)

※「よかった」「まあまあよかった」が全体に占める割合

【主な意見】

- ・ いつも自己流であり、実際の授業の様子を見ることができてよかった。
- ・ ZOOMの授業もとても参考になった。
- ・ いつも使わないテキストを見ることができたのもよかった。

課題

- ・ 単発的な取組として完結することもあり、その後の展開が見えづらい。

課題への対応

- ・ 継続性かつ発展性も踏まえた支援となるよう、事業の設計を行う。

② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり

日本語ボランティアの養成・研修(市町村支援)

概要

市町村が自立して講座の継続実施ができるよう、日本語ボランティア養成及び実践者研修等に対し、プログラム提供・講師派遣等の支援を実施。

【平塚市】

参加者:44名(新たに活動を希望する方等)

実施日:全4回 8/27(日)、9/3(日)、9/10(日)、9/24(日)

【座間市】

参加者:20名(新たに活動を希望する方)

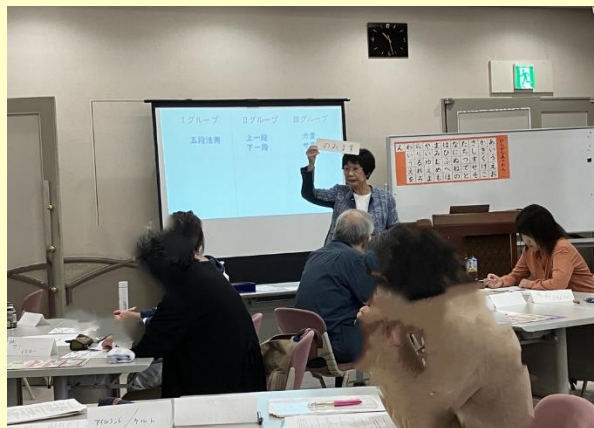
実施日:全4回 10/8(日)、10/15(日)、10/22(日)、10/29(日)

【真鶴町】

参加者:14名(やさしい日本語に関心のある方)

実施日:全2回 7/2(日)、7/9(日)

取組実績



〔参考(前年度):海老名市・座間市(共同実施)、綾瀬市〕

② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり

日本語ボランティアの養成・研修(市町村支援)【続き】

受講者からの意見等

【受講者の満足度】

平塚市:95% 座間市:100% 真鶴町:100%

※「よかった」「まあまあよかった」が全体に占める割合

【主な意見】

- ・ 専門の先生方にお話を聞くことができ、ペアワークやグループワークも楽しく、日本語ボランティアの姿を具体的にイメージできました。
- ・ 相手の日本語レベルや勉強の目的、状況などに応じて、自分の話し方をちょうどよく変えることが難しくも面白く、やりがいを感じる点だと思った。
- ・ 日本語ボランティアとして言葉を教えることだけでなく、その方が日本の中で生活しやすいように支援する幅広い活動だということがわかりました。
- ・ 語学が苦手でしたが、日本語でもコミュニケーションをとれる方法を知れたので、話しかけることができればと思いました。

課題

- ・ 日本語教室がない地域あるいは少ない地域での実施方法。

課題への対応

- ・ 引き続き、市町村の状況・ニーズにあわせた活用の呼びかけを行う。

② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり

日本語学習支援に関する研修の実施

概要

地域における日本語教室の実践者(リーダー的人材)を対象に外国籍県民等の学習ニーズの把握や地域に関わる多様な主体との連携を考慮した日本語教室を実践できるよう研修を実施し、教室間・地域間のネットワークづくりの支援を行う。

【テーマ】

- ①日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？
- ②日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

【県央地域】 対面開催

参加者：①17名、②14名

実施日：①11/2(木)、②11/8(水)

場 所：おださがプラザ多目的ルーム

【県西地域】 対面開催

参加者：①16名、②20名

実施日：①12/7(木)、②12/20(水)

場 所：①小田原市役所601会議室

②小田原お堀端コンベンションホール

参考：資料編 p9

〔参考(前年度)：湘南地域、横須賀・三浦地域〕



取組実績

② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり

日本語学習支援に関する研修の実施【続き】

受講者からの意見等

【受講者の満足度】

県央地域:①100%、②100% 県西地域:①100%、②100%

※「よかった」「まあまあよかった」が全体に占める割合

【主な意見】

- ・ 日ごろの教室では同じ団体の人も含めて、他のボランティアと意見交換をしたり、交流したりすることが少ないので、今日はいろいろな人と親しく率直なお話が聞けて良かった。このような機会をまた設けていただきたい。
- ・ いわゆる実務レベルの「横の連携」が実感できてとても参考になりました。
- ・ 地域の特性と、その地域特性を反映した教室運営について知る機会があるとありがたいです。

課題

- ・ 年度毎に開催地域が異なるため、地域を越えた交流が進まない。

課題への対応

- ・ 広域的なネットワークづくりをフォーラムで実施する。

③地域日本語教育に関する情報提供の充実と 外国籍県民等の日本語学習へのアクセス促進

日本語学習支援に係る相談対応・情報提供

概要

- ・ インターネット、電話等により、相談対応及び情報提供を実施。
- ・ 必要に応じて、訪問(アウトリーチ)による相談対応、情報提供を行う。
- ・ ポータルサイト「かながわでにほんご」の運営。
(日本語学習に関する情報提供、日本語教室マップの提供等)

取組実績

オンライン教室開催支援

- ・ 日本語教室等へのオンライン教室の開催支援
(Zoomの使い方を教える等)

相談対応・情報提供

- ・ 日本語教室や研修講師の紹介等
- ・ ポータルサイト「かながわでにほんご」運営



参考:資料編 p13、p17

課題

- ・ 外国籍県民等や支援者に確実に情報が届くよう、現状を把握し、
情報提供の方法等を継続的に改善する必要がある。

課題への 対応

- ・ 外国籍県民等や支援者などの相談者から具体的な情報を得るとともに、
訪問(アウトリーチ)の機会を生かして、状況把握に努める。
- ・ ポータルサイトのアクセス状況を確認し、より効果的な広報に努める。

④ 多文化理解の推進

地域日本語教育に関するフォーラムの実施

概要

日本語教育に関する基本的な理解や関心を深めることを目的としたフォーラムを実施する。

【第1回】 オンライン開催

テーマ: かながわ地域日本語教育フォーラム

日本語教室ってどんなところ？

～変わりゆく日本語教育と地域の

日本語教室を考える～

実施日: 10/28(土) 14:00～16:00

参加者: 133名



【第2回】 オンライン開催

テーマ: かながわ地域日本語教育フォーラム

～多様な主体が連携した地域日本語教育を目指して～

実施日: 2/7(水) 14:00～16:00

参考: 資料編 p19

取組実績

参考(前年度)

【第1回】 令和4年9月23日(金・祝)開催

テーマ: 居場所としての日本語教室～コロナ禍で途切れた人との交流をつなぎ直す～

【第2回】 令和5年1月29日(日)開催

テーマ: 職場における外国人とのコミュニケーションを考える

④ 多文化理解の推進

地域日本語教育に関するフォーラムの実施 【続き】

参加者 からの 意見等

【参加者の満足度】

第1回:100%(回答数111名)

※「よかった」「まあまあよかった」が全体に占める割合

【主な意見】

- ・ 日本語教室の在り方、意義の再確認ができました。聞く力の大切さを再認識しました。
- ・ 地域日本語教室の方向性を共有したり、これから始める方に理解していただくためにとっても分かりやすい説明で、参考にさせていただきたいと思いました。
- ・ 参加者それぞれの立場で、情報、意見を共有できて良かった。もう少し時間が欲しかった！
- ・ ブレイクアウトルームを取っていただいで少人数での話し合いは、とてもいいですね。

課題

- ・ フォーラムのテーマ設定。
- ・ 参加者の重複(今後も日本語教育の裾野を広げることができるか)。

課題への 対応

- ・ 「広域で行うべきネットワークづくり」(+「地域日本語教育に関する情報の収集と提供」)に位置付けられるような事業として、再構築を図る。

(参考) 県内市町村の状況

ボランティアによる日本語教室が多く、行政による支援も少しずつ進み始めている。

ボランティアによる日本語教室が多く、行政による支援が比較的進んでいる。

政令市

県央地域

湘南地域

県西地域

一部でボランティアによる日本語教室が運営されているが、日本語教室のない空白地域が多い。

一部でボランティアによる日本語教室が運営されているが、日本語教室のない空白地域がある。

ボランティアによる日本語教室が多く、行政による支援も少しずつ進み始めている。

横須賀三浦地域

市町村からの意見等

- 市町村の実情に合わせ、柔軟に対応をいただいている。引き続き支援制度の維持をお願いしたい。
- 補助金活用については、地域に協力要請できる国際交流協会等がなく担当職員も限られているため、踏み切ることができない状況がある。
- 企業での日本語教育の実施状況に関する調査、もしくは企業への日本語教育促進の働きかけを県に実施していただきたい。
- 日本語教育機関(日本語学校)との協力体制を県主導で働きかけていただきたい。